

人と出会い、夢を語り、世界を広げよう

人生の本当の楽しさは、結果ではなく生きる過程にある



●プロフィール/ピーター・フランクル 1953年ハンガリー生まれ。71年国際数学オリンピックで金メダル受賞。77年数学博士号取得。78年サーカス学校で舞台芸人の国家資格取得。79年フランスに亡命。88年から日本在住。ハンガリー学士院メンバー。11か国語を話す。テレビ出演・地方講演など多数。主な著書「数学放浪記」「ピーター流外国語取得術」など。

世界的な数学者にして大道芸人という2つの顔を持つピーター・フランクルさん。全国を旅し、数学の楽しさを伝えるとともに、大道芸を披露し、交流を深めてきました。「腹を割って話せる友だちが一番の財産」というピーターさんからのメッセージを紹介します。

僕

は日本人の真面目で優しいところが大好きで、長年この国で暮らしています。しかし、最近、気になっていることがあります。講演や旅行に行く先々で出会う人たちはみんな親切で、道を尋ねれば丁寧に説明してくれます。それぞれ素晴らしい人たちなのですが、魅力的で楽しい人生を送っている人は、少ないように感じます。原因は、人づきあいや活動の場が限られてしまっているからではないでしょうか。たとえば、職場の人間関係を大切にすることは、会社員は会社員同士、医師は医師同士、教師は教師同士といった同じ職業の人だけで

時間を一緒に過ごしてしまう。職業を越えた横のつながりをもっている人が少ないように思います。世界が狭いと、友情を育てたり、個性を伸ばしたり、視野を広げたりする機会が乏しいのです。もっと広い範囲で、上下関係のない対等な付き合いのできる場を増やすべきです。人間は様々な人と出会い、学び、成長していくものです。どんな人からも学ぶことはたくさんあります。僕にこうしたことを教えてくれたのは父でした。父は医師でしたが、地位や名誉に関係なく、人と対等につきあうことを何よりも大切にしていました。家には絶えず職業や立場の違う人が出入りし、一緒に食事をし、人生について語り合っていました。おかげで僕は、世の中には様々な考えや生き方があることを知ることができました。そして、数学という自分の得意分野に進むことができたのです。

今の子どもたちに必要なのは、いろいろな人と交流し、経験の中から自分にあった将来の目標や夢を見つけることではないでしょうか。地方に行くことと様々な文化や暮らしに出会えます。日本は狭いようで、実はとても広い国だなぁと実感します。ですからもっと親子で国内旅行をすることをすすめてほしいですね。また国内交換留学制度の導入もぜひ考えていただきたい。例えば埼玉の子どもが2週間程度和歌山の子どもの家に行って向こうの学校に通う。次は和歌山の子どもが埼玉に来るなど、違う地域の暮らしを体験すると世界が広がるものです。僕は人生を魅力的で楽しいものにするには、3つのY……「夢・勇気・友人」が必要だと思っています。なぜなら、いきいきと生きるためには「夢」が必要です。しかし、夢は必ず実現できるとは限りません。そこで、壁にぶつかったとき、夢をあきらめかけたとき、「勇気」を与えてくれるのが「友人」なのです。僕が街角で大道芸を披露しているのは、たくさんの人とすぐに友だちになれるからなのです。経済活動の低迷が続いている現在、結果ばかりが求められる傾向にあります。しかし、結果はあくまで人生の通過点に過ぎません。人生の本当の楽しさは、結果ではなく、夢に向かって生きる過程にあるのではないのでしょうか。

誰もが夢や希望を持っています。様々な可能性を秘めています。それなのに、自分には何もできないと、あきらめていませんか。男女雇用機会均等法の施行から20年。

この間、働く女性は年々増え続け、雇用者全体の4割にまで達しています。しかし、社会の状況を見ると、女性の能力が十分に発揮されているとは言えません。例えば女性管理職の割合は、係長クラスで増えているものの、全体に占める割合は約10%程度。

研究職に占める女性の割合は男性に比べ、はるかに少ないのが現状です。また、職場における男女の地位についても、不平等と感じている人がまだまだみられます。

特集

いきいき働くために

自分の可能性に

チャレンジしよう！



人は自分の可能性を発揮できる場があるからいきいき輝けるのです。

終身雇用制度が崩れ始め、

労働に対する価値観や働き方も多様化しています。

あなたも自分の可能性に向かってチャレンジしてみませんか。

そんな一人ひとりのチャレンジが、社会を変える大きな力になるのです。

起業したい！

再就職したい！

キャリアアップしたい！

技術を活かして働きたい！

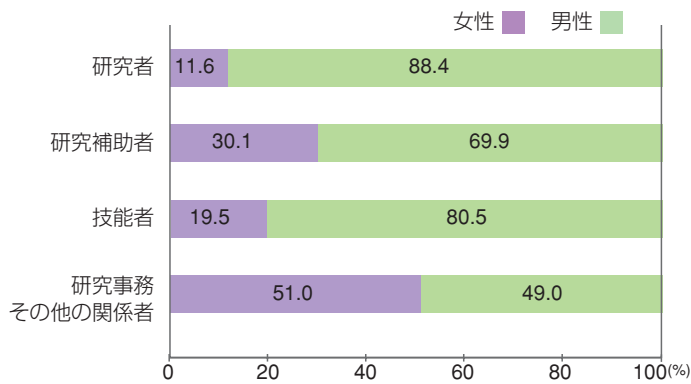
チャレンジサイト

様々な分野にチャレンジしたいと考える人を支援するために色々な情報を提供しています。

<http://www.gender.go.jp/e-challenge>

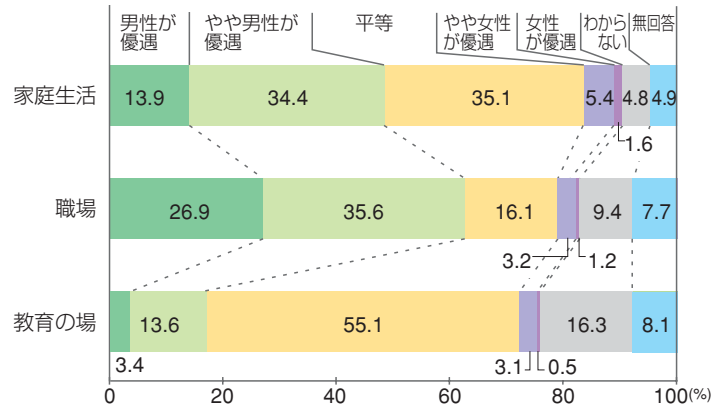
(内閣府男女共同参画局)

【研究関係従業者における男女割合】



資料/総務省「平成16年科学技術研究調査報告」

【男女の地位の平等観】



資料/さいたま市総合振興計画策定のための市民意識調査報告書(平成14年3月)